



どこよりも、
いのちを愛する東北へ。

Re Heart

院長あいさつ：石井洋

令和4年4月以降、当院の人員配置転換に伴い2名の医師を迎え新しい体制で出発しました。これを契機に当院をより高い次元に引き上げたいと思い、まずはホームページを新しくすることにしました。それに伴い認知症・精神療養・回復期リハビリの3つの部門から構成される当院の使命を1つにまとめるコンセプトを再考して『もう一度輝くために』という言葉にしてみました。それは広い意味での心身ともの『リハビリテーション』すなわち『権利の回復（復権）』ということであり障害をもった方の『生活と人生をよくすること』になるかと思えます。そのためには色々な検査や訓練などの機会であったり、精神症状を改善させるための薬物であったり、効果的な訓練の方法や環境の調整などの手段がありますが、いちばん中心になるのは『人が人をささえること』です。それは相手に対するまなざしであったり、思いやりに満ちた言葉であったり、相手の話を聞くことであったりします。

令和4年7月に当院の精神保健福祉事業への貢献に関して宮城県精神科病院協会から会長賞をいただきました。これもまた一つの励みとしながら基本に立ち返って更なるレベルアップを図りたいと考えています。

医師紹介：青沼孝徳（回復期リハビリテーション病棟担当）

本年4月に着任いたしました青沼孝徳と申します。回復期リハビリテーション病棟を担当しています。川崎こころ病院は豊かな花と緑に囲まれた場所です。ここで勤務できることを大変嬉しく思います。

私は一般内科・一般外科などで経験を積んで参りました。患者様がリハビリテーションをおこなうにあたって、その人らしさを尊重した診療を心がけ、回復のお手伝いが出来ればと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

医師紹介：工藤静華（精神療養病棟担当）

本年4月に故郷の北海道を離れ、当院に入職しました工藤と申します。精神療養病棟を担当しています。病状のみならず、患者さん1人1人の個性も尊重し、それぞれの思いに寄り添った診療を目指していきたいと思っております。

当院はリハビリも充実していますので、可能な限り、社会復帰の支援にも努めながら、他の医療機関とも連携し、地域に根差した医療を実践していきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

診療技術部のご紹介について

今号では川崎こころ病院内の診療技術部にフォーカスを当ててご紹介したいと思います。医師や看護師の他にも様々な専門職が治療や回復・社会復帰に向けて取り組みを行っております。当院の特色をぜひとも知っていただき、ご活用いただければと思います。

外来

当院外来は、石井院長が担当するもの忘れ外来、竹内医師、工藤医師、山下医師が担当する精神科、山内医師が担当する心療内科で構成されています。

担当の先生の顔を見るだけで安心するとお話しするご家族や患者さんも少なくありません。午後から予約や相談のお電話を受付しておりますと、「こころ病院を受診するように言われました」または「明日、受診したい」と希望される事があります。ご希望に沿えない時は午後も土曜日にも診療しているクリニックの案内をさせていただきます。少しでも安心を提供できればと思っています。

外来担当医表

診療科		月	火	水	木	金
精神科	午前	工藤	山下	竹内	山下	工藤
	午後			竹内		
老年精神科 (もの忘れ外来)	午前のみ	石井	石井		石井	石井
心療内科	水曜日 午後のみ			山内 (14:00~)		

※土・日・祝日、及び年末年始は休診日です。

ご利用にあたって

当院外来は予約制となっております。事前に予約をお取りいただいた上で、受診頂きますようお願い致します。

ご予約受付時間：月曜日～金曜日 14：00～17：00

診療受付時間／ 8：30～11：30
13：30～16：30(水曜日のみ)

診療時間／ 9：00～12：00
14：00～17：00(水曜日のみ)

※お問い合わせの際は、下記
電話番号におかけいただき、
「外来担当者」をお呼びくだ
さい

0224-85-2333(代表)

医事課

医事課（総合受付）では、外来・入院診療、各種診断書、予防接種等の受付のほか、健康保険制度（保険証、限度額認定証、自立支援医療等）や院内に関するご案内も行っております。正面玄関を入ってすぐ、右手側にございますので、お気軽にお声がけください。

薬剤科

薬剤科では医師の処方箋に従い処方薬を調剤し、入院患者さまや外来患者さまに適切にお薬をお渡しさせていただいております。外来の患者さまは院外処方も可能ですので受診時に医師にお伝えください。お薬のことで疑問や相談がある際はお気軽にご相談いただければと思います。

当院薬剤科の植松拓也主任薬剤師(日本病院薬剤師会認定 精神科薬物療法認定薬剤師)が当院で取り組んでいる業務内容を「精神科併設回復期病棟での薬剤師による向精神薬適正化の取り組み」と題して、第8回日本医薬品安全性学会学術大会(2022年8月20・21日)にて発表し、「優秀ポスター賞」を受賞しました。私たち薬剤科は川崎こころ病院職員の一員として、これからも安心安全で効果的な薬物療法を支援していきます。

話しは変わりますが、私たち薬剤科は、川崎こころ病院園芸部(非公式)の一員です。園芸部は当院施設管理部門の承諾を得て(公認)、2020年春から病院敷地内で活動しております。詳細は当院Instagram(公式)をご覧ください。



放射線科・検査科

放射線科では主にX線撮影・読影を行っております。当院ではX線装置、ポータブルX線装置があり、胸部、腹部をはじめ全身の撮影を行っております。撮影したデータはすべてデジタル処理し、パソコン上で確認ができるようになっています。

検査科では検体検査と生理検査を行っております。検体検査は主に血液や、尿の検査になります。血液では貧血や風邪かな?等がわかり、尿では糖尿や尿路感染症等がわかります。生理検査は心電図や超音波、MRIなど患者様自身を検査します。各種検査を行うにあたり、当院ではお年寄りの患者様が多いので色々大変な場合もありますが臨床検査技師2名・診療放射線技師1名によって親切心を心掛けて頑張っております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

心理科

心理科では、「心理検査」「心理療法」「集団心理療法」などを行っています。心理検査では、記憶力や注意力などが年齢相応かどうかや、物事の捉え方や人間関係の特徴、得意不得意などを客観的に評価します。心理療法では初めに相手の話を傾聴し、その気持ちに寄り添いながら様々な心の痛みに向き合い、より良く過ごすためにどのようなことが出来るか、共に考えます。集団心理療法では、心理教育やグループワークを通して、セルフケアなどの知識や対人関係のスキルを学び、実践しています。

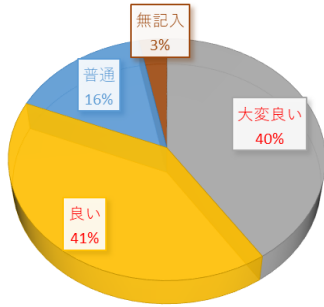
退院時アンケート

当院の事業方針の一つでもあります「顧客満足度の高い病院であり続ける」ことを具現化し、自らの立ち位置を知るためにも、今年度6月1日より患者様の退院時にアンケート記入をご本人やご家族様にご協力いただいております。アンケートの内容は下記の4項目とし、「大変良い」「良い」「普通」「悪い」「大変悪い」の5段階で評価していただきました。（協力は任意とし、無記名で記載後、アンケート箱に投函）

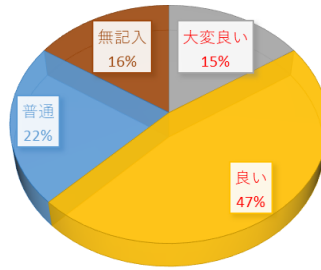
アンケート内容

- ①患者さんの症状・状態の改善について
- ②退院後の生活環境の調整について
- ③スタッフの接客について
- ④当院の施設・設備について

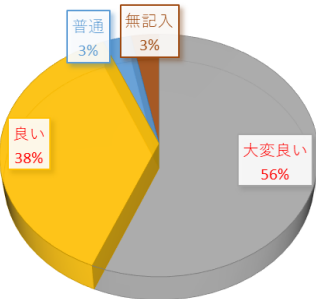
①患者さんの症状・状態の改善について



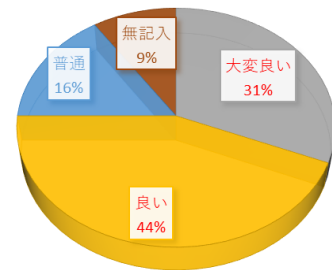
②退院後の生活環境の調整について



③スタッフの接客について



④当院の施設・設備について



開始後4か月が経過した9月末日時点で退院した患者様の人数は61名でした。その中で救急搬送等の「転院」13名と院内の「転棟」2名を省きまして46名が実際の対象人数となりました。アンケートの投函された数が32件でしたので回収率は約7割でした。結果につきましては上記の通りとなります。

概ね「良い」評価を得ている事が分かりとてもうれしく感じております。引き続きこの結果を継続していけますよう、職員一同努力してまいります。アンケートにご協力いただきました皆様、本当にご協力ありがとうございました。

面会制限・SNSのお知らせ

○コロナ禍におきまして、対面での面会制限を継続しています。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

＊ ＊ 当院公式のInstagram(インスタグラム)は日々更新中です！！

当院ホームページあるいは右上のQRコードからご覧ください！



編集後記

ご意見・ご望は地域医療連携室まで問い合わせ下さい。

今号で「ReHeart」は6回目の発行を迎えることができました。今回は診療技術部の紹介をさせていただきましたがいかがだったでしょうか。以前としてコロナ禍が終息する気配はないですが皆さまとともに困難を乗り越え歩んでまいりたいと思います。今後とも当院をどうぞよろしくお願い致します。（及川）



編集／発行

川崎こころ病院 地域医療連携室

Tel：0224-84-6660

Fax：0224-85-2666

（連携室直通）

< 地域医療連携室職員 >

岩澤、及川、田中、齋藤、鴻野